



新しい経済の潮流

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

巨大資本と新しい技術製品サービスは、その新しいエリートたちにおける新しい現実の創造を有する。これらは大きな潮流であり、現実はこれにおいて未来を有することは真実なのである。

資本力と技術力は真実において世界を所有しているのであり、これらが模索する新しい世界は創造に勝る優れた現実を有するのである。

これらは明らかに世界の2分化を与えるものである。これらはインフレという現実においてトレンドという生活スタイルが、エリートを頂にして存在し、社会的弱者はこれに参加できないのである。

留意すべきは、その資本力を大きさが、先端技術への投資とともに、新しい現実を有することなのである。これらは革命的進歩性と変化が、資本において所有されていることなのである。

資本力と技術力はもはや、中小企業、等しく日本企業が、到達できないのである。しかし自由経済というルールにおいて企業の生き残りは、これら新しい企業基準への到達を必要とするのである。

これらはグローバリゼーションの絶対的真実なのである。世界基準という企業要求をクリアすることは、企業努力において必ず必要なのである。

これらは企業が、明確にこれら基準をクリアし自己を有することが企業の安定性を有することであり、高い利益性は、先端性において構築できるのである。

これらが経済における世界との対等な自己であり、グローバル市場における企業への必要性なのである。

これらは現在における考察であり、さらなる未来はさらなる変化を有することは容易に考慮できるものである。これらは新しい世界のシステムや、技術進歩のスピードが創造に勝る速さで存在し、経済における企業の参加はこれを無視することは不可能なのである。